

富山大会と養成講座に参加して
OCC スタッフ 青木 美由紀

この度、富山県民会館で行われた第8回がん哲学外来コーディネーター養成講座と市民学会第7回大会を通して多くの学びを頂きました。

初日のグループワークは参加される方々のそれぞれの地域の特徴などをお聞きしながら皆さんの持ち味がいかされていることを感じました。初めて出会う方々とがん哲学外来という樋野先生のことばの処方箋をベースにして、気が付くといつの間にか心の奥から気持ちを汲みだして語る事ができる、安心できる場所…。それが「がん哲学外来」なのです。

グループワークでも活発な意見が出てそれぞれの役割も分担でき、まさしく即効性と英断でしょうか？グループ発表もあっという間に終わったような気がします。同じ思いを持つ人たちと一つの作業を行うという事がこんなにスムーズとは。やはりがん哲学外来の中にある「光」なのでしょう。

今後のがん哲学外来ナース部会でも一つの新しい光が見えてきたような明るい気持ちになりました。富山でのあらたな出会いに感謝です。



◇学会認定証の授与式。この日が来るのを待ち望んでいました。



◇西村元一先生はいつも私たちのそばで見守って下さっています。



◇養成講座は今回で8回目。「深い学びを！」と話されるのは、安藤潔先生と宗本義則先生です。

WELCOME ～市民学会第8回大会～

患者 - 医療者間の
ギャップを考える
～比較からの脱却～

日時 2019年7月7日(日) 9:30-16:00
場所 ウェスタ川越 (埼玉県川越市)

*前日7月6日 第9回がん哲学外来コーディネーター養成講座



◇第9回コーディネーター養成講座は7月6日(土)。大会長は埼玉医科大学の矢形寛先生。乞うご期待！

新渡戸稲造～軽井沢夏季学校 100周年～
がん哲学外来映画製作委員会々長 田寺 順史郎

第2回軽井沢夏季がん哲学学校に参加しました。新渡戸稲造の日本に於ける女子教育の功績を讃えた講演会を興味深くお聴きしました。満員の盛況でした。

さて、私達は1年前から「がん哲学外来」をテーマとしたドキュメンタリー映画の製作を進めています。今回の軽井沢シンポジウムに合わせてダイジェスト版(20分)を製作、それをご参加の皆様にご覧頂こうと思っておりました。しかし、講演会の進行上、時間が無く作品の出だし部分だけの上映になってしまいました。手伝いに参加した「がん哲学外来映画製作委員会」のメンバー2人も含めとても残念な気持ちです。野澤和之監督は尚更でした。

但し、後刻「良さそうな映画でもっと観たかった」と期待を込めたメールを頂き、沈みかけた気持ちが救われました。撮影活動はもう少しかかりますが順調に進んでおり、今秋には予定通り完成です。映画製作にご協力を頂いている皆様には本当に感謝いたしております。

病いで苦しみ悩んでおられる方々、支え、悩みを共有している皆様。そして、世の中の一人でも多くの方々にこの作品を観て頂きたいと願っています。皆様のご期待に応えられる映画となるよう努力してまいります。

がんと共にいい覚悟で生きる
～がん哲学外来の話～

がんになった時に人は何を感じ、何を思うのか。
生きる事に本当の希望と底力を与えた
ことばの処方箋

参加費無料 [日時] ▶▶▶ 8月11日(土)10:00～11:30
先着50名様 [会場] ▶▶▶ 松本市勤労者福祉センター
(事前予約制) 松本市中央4丁目7-26



順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授 医学博士
一般社団法人 がん哲学外来理事長

樋野興夫先生

米国アインシュタイン医科大学肝臓病センター、米国フォクスチーアスがんセンター、癌研究所実験病理部長を経て現職。2008年に「がん哲学外来」を開発し、現在では「がん哲学外来&メディカルカフェ」を全国で展開している。
高松宮妃癌研究基金学術賞、第68回「保健文化賞」など受賞。
『明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』など著書多数。

<お申し込み&お問い合わせ>

mail : gratefuldays.we@gmail.com
Tel : 090-2141-1524 (斎藤まで)

入場無料